

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	
氏名	窪 拓摩
着任日	令和3年2月1日

活動月	令和7年2月(着任4年1ヶ月)
主な活動	1.新茶に向けた人材確保対策説明会第二弾を実施！ 2. 新茶シーズンに向け内覧会への参加 / 京都・宇治市視察 3.関係人口創出・人材確保セミナー / SNS講座 / 颯娃高校発表

1.新茶に向けた人材確保対策説明会第二弾を実施！



写真:短期雇用向けの人材確保説明会(タイミー)

先月実施の人材派遣会社説明会に続き、当月は1日数時間からの短期雇用を対象とする会社説明会を茶業関係者向けに行いました。一昨年、昨年と年々利用する茶業事業者が増えてきておりまして、茶生産現場の強力なサポート人材確保として、今後も展開を進められたらと手応えを感じております。

今回の説明会では、ここ数年で茶業関係者の利用が増加し実績もついていることから、応募が集まる掲載のコツなどを説明会内容に追加し、より現場のニーズを解決していく時間をつくっていただきました。

気がつくと、新茶シーズンはすぐそこまできております。計画的にスケジュールを組み、生産体制を整えながら本年の裏方サポートができたらと思っております。

2.新茶シーズンに向け内覧会への参加 / 京都・宇治市視察



写真:(株)吉村様新茶シーズン向け内覧会の様子

当月中旬、半年に一度開催をしている(株)吉村様の新茶内覧会へ参加しました。全国各地で開催される中でも、トップバッターのエリアとして市況を踏まえた茶のトレンドや小売のポイントなど、盛りだくさんの内容でありました。昨年秋に、吉村様の本社で開催されました内覧会に参加をした時は、小売店や飲食店関係者が多く、茶問屋や茶商関係者が多い当会場とのエリアの特色が非常に興味深いところです。



写真:京都視察 宇治市森半様店舗内の様子

地域おこし協力隊活動報告書

また、別日にはインバウンド客や抹茶輸出等で盛り上がりが続いている京都府への視察出張を実施いたしました。今回ご挨拶をさせていただきました関係者から、かつては茶をつくるまちであったところから、現在はインバウンド客や国内旅行者で賑わうまちへと変化してきたという言葉が印象に残っております。

需要供給地としてのポジションが根強い当市での消費戦略やブランディングについて改めて深く考えさせられる出張となりました。

ご協力いただきました関係各所のみなさまには、改めまして厚くお礼申し上げます。

3.関係人口創出・人材確保セミナー / SNS講座 / 颯娃高校発表



写真：関係人口創出・人材確保セミナー@鹿児島県庁

「知覧茶」に関する活動を続ける中で、PR活動だけにとどまらず、茶生産現場の人材確保や、そこから当市との関係人口へ派生をしていく流れをつくる活動を進めております。今は、知覧茶というテーマの活動ジャンルは「農業」だけでなく、「移住・定住」「観光・PR」までの広範囲を同時並行で推進することが必要なのではと強く感じております。

そういった活動が少しずつ実を結び、茶関係者と民間企業の間には私が入り効果が出てきている内容や進め方などを、この度県庁で発表させていただきました。登壇をされた方々のお話から、細かな地域性の違いはあれど、根本的な課題や解決までのプロセス構築は、非常に同じところを見ている印象を受けました。今後も、異なるジャンルや地域間での情報交換を行いながら、相互発展の形ができたらと思っております。

地域おこし協力隊活動報告書



写真:(左)Instagram活用講座/(右)颯娃高校探求の時間発表会の様子

そのほか、協力隊着任当初から運営をしているSNS(インスタグラム)に関わる、外部講師をお呼びした活用講座への参加や、知覧茶をテーマにした颯娃高校探求の時間発表会への参加をしております。

以上、当月の報告といたします。